

社協だより



第17号



もくじ

こうしゅう福祉まつり	P2
共同募金報告・義援金	P3
特集 東日本大震災	P4
ファーストスプーン	P5
老人福祉大会・作品展	P5
いきいきサロン	P6

第3回こうしゅう福祉まつり開催！

今回で3回目となるこうしゅう福祉まつりを平成23年11月12日に開催しました。

心配された天気も当日には回復し、昨年を超える200名以上の市民の方々にご来場いただきました。

第1部として4つの福祉体験コーナーや募金コーナー、ふれあい商店街などの太陽のつどいと、第2部として社会福祉に功績のあった方々の表彰や、みらいななさんによる絵本の読み聞かせ公演を行いました。

詳しい内容は2ページへ掲載します。

s h a k y o u

第17号 発行日 平成24年3月1日

発行所 社会福祉法人 甲州市社会福祉協議会 甲州市勝沼町休息1867-2 TEL.0553-44-2612
甲州市勝沼健康福祉センター TEL.0553-44-1329 甲州市老人福祉センター TEL.0553-33-9375
福祉あんしん相談センター TEL.0553-32-0285

第3回 こうしゅう 福祉まつり 特集

第一部 太陽の集い

平成23年11月12日、こうしゅう福祉まつりが、45団体230人のボランティアスタッフの協力をいただき開催されました。

屋外会場のふれあい商店街では、福祉施設や団体の出店テントが並び、いらっしゃいませ〜の声に手作り製品やおいしい食べ物も次から次へと売れていました。また無料プレゼントコーナーの綿菓子やヨーヨーには子供たちの笑顔がたくさんありました。次に屋外ステージでは、車イスダンス・バナナのたたき売りのパフォーマンスが行われ、収益金23,230円は東日本大震災義援金としました。

屋内会場では、輪投げコーナー(片足バランス)・手話クイズ(手話体験)・点字で名前シール作り(点字体験)・アイマスク体験(疑似体験)と4つの体験コーナーを開設し、また、王様ゲーム(声かけ体験)を実施し、スタッフも体験者もみんなで福祉学習をする福祉まつりでした。また、プロの施術師によるアロマハンドマッサージの癒しコーナーも大人気でした。

社会福祉協議会では、子供から高齢者、障がいのある方もない方も相互の理解を深め、共に手を取り合い、思いやりとふれあいの輪を広め地域福祉や個人ボランティア力の向上につながるように努めます。



●震災義援金につながったバナナのたたき売りパフォーマンス



●楽しみながら覚える手話コーナー

第二部 第5回甲州市社会福祉大会



●表彰式

今回で5回目を迎えた甲州市社会福祉大会は、「人にやさしい福祉のまちづくり」をすすめることを目的として、11月12日に甲州市民文化会館で開催しました。

一般功労表彰としてボランティア活動で功績のあった個人2名、3団体と、福祉施設において功績のあった3名の方々に甲州市社会福祉協議会長表彰を授与いたしました。また、甲州市社会福祉協議会の活動に対しご尽力いただいた9名の方々に感謝状を贈呈いたしました。

この後、大会記念公演として「葉っぱのフレディ〜いのちの旅〜」を翻訳したことで有名なみらいななさんをお招きし、朗読と命をめぐるお話をいただきました。

赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました！

平成23年10月1日から12月31日まで赤い羽根共同募金運動が行われました。市民の皆さまをはじめ、各関係機関のご協力をいただきながら多大なる浄財をいただき誠にありがとうございました。

この募金は平成24年度において配食サービス事業やファーストスプーン事業、防災倉庫備品整備事業などさまざまな分野に使われます。

平成23年度赤い羽根共同募金運動実績額

家庭募金	4,629,900円
大口・事業所募金	1,640,000円
職場募金	134,512円
街頭募金	41,151円
歳末たすけあい募金・その他	258,736円
合計	6,704,299円



地域特別事業(防災用具購入)



ファーストスプーン事業(子育て支援)

募金自動販売機(ハートフルベンダー)を設置しました

福祉あんしん相談センター(JAフルーツ山梨塩山支所西)にジュースを買うだけで募金ができる自動販売機「ハートフルベンダー」を設置しました。この募金は各福祉事業に使われます。

皆さんもぜひ一本でも多く買って、共同募金にご協力ください。



義援金報告

東日本大震災から1年が経とうとしています。今なお苦しい生活を余儀なくされている方が数多くいらっしゃいます。3月31日まで募集しておりますのでご協力をよろしくお願いします。

東日本大震災義援金実績額

10,199,207円

(平成24年1月30日現在)

特集 東日本大震災

昨年3月11日に発生した東日本大震災からもうすぐ1年が経過します。これまでの死者・行方不明者は約2万人に上っています。日本各地からボランティアが駆けつけ復旧支援活動にあたってきましたが、甲州市社会福祉協議会でも職員やボランティアが被災地に駆けつけ復旧支援活動にあたりました。

災害救援ボランティア活動

市民16名、職員7名が平成23年10月8日～10日の3日間、災害救援ボランティアとして岩手県陸前高田市災害ボランティアセンターに行きました。現地では津波で被害を受けた畑の石などを取り除く作業をしました。



被災地等の製品販売

平成23年10月23日およっちょい祭りにチャリティーブースを出して被災地の製品と甲州市・山梨市の障害者作業所の製品を販売し、売上金を義援金として被災地へ送りました。



被災地への職員派遣（2名）

- ・岩手県釜石市災害ボランティアセンター（9日間）災害ボランティアの受け入れ、ボランティア派遣先の確認作業等を行いました。【写真】
- ・宮城県気仙沼市障害者地域生活支援センター（14日間）避難所や仮設住宅など障害者の相談支援を行いました。



チャリティーバザー

平成24年2月25日ボランティアふれあいまつりで遊休品を販売し売り上げを義援金として被災地へ送りました。



被災地へ行って思うこと（甲州市社会福祉協議会 武井勇太）

今回のような災害時には災害救援ボランティア活動が大きな力となります。自分にも何かできることはないかと思っている方も多いと思いますが、災害救援ボランティアに参加する際は、被災者や他のボランティアに迷惑をかけないように行動することが大切です。

私が被災地に行って感じたことは平常時からの準備の重要性でした。地域福祉を推進していくことを使命としている社会福祉協議会では地域の皆様と一緒に災害に強い地域づくりを目指し、訓練や学習を重ねていきたいと思っています。

ファーストスプーン (赤ちゃん訪問事業)



平成23年4月よりファーストスプーン(赤ちゃん訪問事業)がスタートしました。地区担当の民生児童委員と主任児童委員がスプーンと子育ての情報をもち、赤ちゃん家庭を訪問しています。ファーストスプーンは1本1本作家による手作りの木のぬくもりを感じるとてもやさしいスプーンに赤ちゃんのお名前と生年月日を刻印し、世界に1本だけのスプーンをプレゼントしています。平成24年1月末現在102本のスプーンをお届けしています。

担当の委員は「訪問活動の中でもこんなにも感謝される活動は他にはなく、赤ちゃんは地域の宝なのでみんなですべて子育て支援をしてゆきます」と話してくれます。また、スプーンを贈られたママも「地域のぬくもりを感じます、この子だけのスプーン大事に使います。ありがとう」と笑顔で答えてくれました。

このスプーンをきっかけに、子育て家庭の孤立化を防ぎ、顔と顔を合わせることで、地域全体で、子育てを見守る環境をつくっていききたいと社会福祉協議会は考えています。

この事業は赤い羽根共同募金の助成を受けて実施していますので、地域の皆さんへの感謝の気持ちをスプーンに添えてお届けしています。赤ちゃんが生まれましたら、ぜひ申請して下さい。



第6回甲州市老人福祉大会・ 甲州市高齢者作品展を同時開催

平成24年2月8日に甲州市民文化会館の大ホールで老人福祉大会を開催しました。田辺市長をはじめ7名の方々をご来賓としてお招きし、高齢者福祉に功績のあった被表彰者16名の表彰と3名のことぶきマスターの披露。6組の有志の方々による芸能発表を行い、約400名の老人クラブ会員のみなさんにお越しいただきました。

さらに2月7日～10日に同会館大会議室にて高齢者作品展を開催しました。市内120名以上の高齢者の方々より200点を越す作品を出品いただき、どの作品も甲乙付けがたい秀作ばかりでした。ここで選考された12点の作品は6月7日～11日に山交百貨店で開催される山梨県シルバー作品展に出展されます。



私たちも
取り組んで
います！

ふれあい・いきいきサロン紹介コーナー

no.10

菱山一区 サロン超いきいき会 (菱山地区)



甲州市で最も新しい今年一月に発足した、出来立てホヤホヤのサロンです。何人の方々が集まるか心配していた第一回目も、参加者・ボランティアを含め総勢十六名の人が集まり賑やかなスタートを切る事が出来ました。

最初は何が始まるのか緊張した様子の参加者達も、保健師の方からの「川の流れるように」に合わせた健康体操が始まると、リズムに乗って徐々に体も心もほぐれていき、その後はお茶を飲みながら世間話や今後のサロンの話などに花が咲いていました。

菱山一区集会場を主な会場とし、来年度からは年6回（農繁期は休み）の活動予定を立て、皆が楽しく集まれるサロンを目指していきたいと思いません。

曜日を覚えよう

かんたん
手話



日



月



火



水



木



金



土

園児に風船と募金箱をプレゼント



平成23年11月16日に共同募金運動の広報活動として勝沼保育園児約100名に赤い羽根共同募金の風船とドラえもん募金箱をプレゼントしました。

元気いっぱいの園児たちは色とりどりの風船にはしゃぎ、とても喜んでいました。



この社協だよりの費用は、県共同募金会の配分金の一部を充てています。